

提出日： 令和2年7月19日

学習フィードバックシート

プロジェクト名： ロボット型ユーザインタラクションの実用化 - 「未来大発の店員ロボット」
をハードウェアから開発する - グループ名： Group 2

担当教員名：三上貞芳，高橋信行，鈴木昭二 学籍番号 b1018063 氏名 山本侑吾

1. 自己評価

評価項目	自己評価 (点数/満点)	評価基準
出席	10 /10	無断欠席回数： ・ 0回(10点) ・ 1回(5点) ・ 2回(0点)
週報	7 /10	標準点：7点 ・ すべて提出したか？ 不備はないか？ ・ 提出期限は守られているか？ ・ 報告事項の内容は十分か？
グループ報告書	8 /10	標準点：7点 ・ 誤字、脱字はないか？ 様式、体裁は整っているか？ ・ 十分な記述量があるか？ ・ 内容に矛盾がなく、再現性や合理性があるか？ ・ 客観的な記述がされているか？
発表会	7 /10	標準点：7点 ・ ポスターはわかりやすいか？ ・ 聴講者に理解してもらえたか？ ・ 説明方法は適切であったか？
外部評価	8 /10	標準点：7点 ・ 発表会やアンケートを通じた外部からの意見の評価 ・ 検討を十分行ったか？ ・ 外部意見を課題解決策に反映することができたか？ ・ 自分勝手な課題解決策になっていないか？
積極性・協調性	8 /10	標準点：7点 ・ 自ら積極的に課題を設定したか？ ・ 自ら積極的に課題の解決策を考案したか？ ・ 自ら積極的に課題を解決したか？ ・ 課題設定・解決のために議論を十分行ったか？ ・ メンバーとお互いに協力し合ったか？
計画性	12 /20	標準 14点 ・ 適切な作業計画を立てることができたか？ ・ 適切な作業分担を行えたか？ ・ 計画通りに作業を進めることができたか？ ・ 必要に応じて柔軟に計画を修正できたか？
成果	17 /20	標準 14点 ・ プロジェクト遂行に必要な知識・技術を獲得できたか ・ プロジェクトへの貢献は十分であったか 自分たちが納得できる成果が得られたか？
合計点	77 /100	

(注)週報の不備を，システム情報科学実習のホームページ→週報の提出確認のページから確認すること。

2.理由

自分自身で上記の点数の評価を行ってください。その根拠はどういうものであるのかについて**10行程度**の理由を述べてください。

まず、出席に関して遅刻は一回してしまっただが、無断欠席などは一回もしていないため、この評価が妥当と考える。週報は数回提出期限を遅れて提出をしたことがあった。個人週報なら自己責任だが、グループ週報も忘れたことがあり、これはグループメンバーに迷惑がかかるので、これからは気を付けて提出する。発表会は、スライド、動画を含めてかなりいいものが作れたと感じているが、質疑応答の時間が、動画を再生していたため、十分な時間を確保できず、全ての質問に丁寧に答えられなかったのでこの評価とした。積極性・協調性に関しては話し合いの場や、会議である程度うまく発言や意思表示をすることができた。計画性は、今回は活動自体が大きく遅れていたこともあり、うまく予定を立てることはできなかったが全体としては影響がなかったのでこの評価とした。全体の成果としては中間発表がうまくいったことを基準にかなりいい成果が出せたと感じているので、この評価とした。

3. 共同作業者によるコメント

須田恭平：

CAD を使ってデザイン案を形にしてくれた。今後も 3D プリンターも活用しつつロボット作り頑張らしましょう。

サイン 須田恭平

奥村輝：

Fusion360 での設計を一番に進めてくれてとても頼りになりました。プロトタイプの完成頑張らしましょう。

サイン 奥村輝

對馬武郎：

設計の音頭を取ってくれてとても助かりました。

サイン 對馬武郎

3. 担当教員によるコメント

教員サイン 三上貞芳

教員サイン 高橋信行

教員サイン 鈴木昭二

所属プロジェクト	ロボット型ユーザインタラクションの実用化 - 「未来大発の店員ロボット」をハードウェアから開発する -
担当教員名	三上貞芳, 高橋信行, 鈴木昭二
氏名	山本侑吾
学籍番号	1018063
クラス	B
配属時における学習目標は何でしたか。(複数回答可)	プロジェクトの進め方; 複数のメンバーで行う共同作業; 技術・知識の習得方法; 技術・知識の応用方法; 作業を効率よく行う方法
上の質問で「その他」を選んだ人は具体的に記述してください。	
上記の目標達成のために、どのようなことを行いましたか。(自由記述 200 文字以上)	ロボットの設計には 3DCAD が必要になるので前期の活動時間は大半をこの設計に充てていた。設計に必要なになってくる知識については、教授から役に立つ書籍の案内をしていただいたのでこれを読みながら設計を進めた。効率のいい設計については繰り返し作業を覚えていく中でうまく理解することができたと思う。今回は新型コロナウイルスの影響もあり会議や活動などは基本的には全て Zoom を用いたオンラインの形式だったが、会話を交えながらうまく作業を進めることができた。
前期の活動を終えて、学習目標は変化しましたか？ 現時点(7月末)における学習目標を選択してください。(複数回答可)	複数のメンバーで行う共同作業; 学生同士でのコミュニケーション; 教員とのコミュニケーション; 技術・知識の習得方法; 技術・知識の応用方法; 課題の解決方法
上の質問で「その他」を選んだ人は具体的に記述してください。	
(9 の質問で学習目標が変化した学生) 学習目標が変わった理由は何ですか？(200 文字以上)	基本的には大きく変化していない。ロボットの設計に必要な知識をこれからも習得していきたいと思っている。しかし、今期の活動を終えて思ったのは、ほとんどオンラインでしか作業をしていなかったため(特に自分のプロジェクトはグループごとに分かれて活動していた)、他のグループメンバーや教員とのコミュニ

	ケーションがあまり取れていなかったため、後期ではうまくコミュニケーションを取りながら、活動を進めていきたいと思っている。
後期、学習目標の達成のために、どのようなことを行う必要があると考えますか。(200文字以上)	前期で行ってきた作業を引き続き行っていく予定である。ロボットの設計についてコンセプトとして考えていた可愛さがあまり感じられなく、もう少しブラッシュアップする必要があると感じているため、より良い形で設計できるようにしようと考えている。前述した通り生徒と教員でのコミュニケーションをうまく取れるように、積極的に話し合いや、そのほかの活動に参加していきたい。また、前期の活動を経てプロジェクト活動の大まかな流れもある程度理解できたので、こちらについても協力的にしていきたい。
前期の活動を振り返って、活動全体の印象や感想を書いてください。(自由記述 200文字以上)	プロジェクト活動が始まる前はメンバーや活動内容についてかなりの不安があった。特にオンラインで実施することになったので、実際にプロジェクトメンバー同士で設計などの相談をすることがかなり難しかった。設計だけにとどまらず、基本的な話し合いや、相談事もかなりしにくいと感じた。それでも活動はしっかりと終わらせることができたのでとてもよかった。自分がこのプロジェクトに入って一番伸ばしたかった設計の技術も大きく成長したと感じる。
グループメンバーと協働することにより、課題を見出し、解決できる	できる
活動を成功させるために必要な努力をする自信がある	できる
証拠に基づいて意見を述べることができる	よくできる
自分で行った結果に対して責任を持つことができる	できる
収集した情報を体系的に整理し、活用することができる	まあまあできる
さまざまなコミュニケーションの場面において、他者の話を注意深く、	まあまあできる

忍耐強く、誠実に聞き、正しく理解できる	
活動の中で壁に直面したり、競争のプレッシャーがあっても、目標の達成に向けてやり抜くことができる	あまりできない
読み手や目的に合わせて、正確にわかりやすい文章を書くことができる	あまりできない
自分とは異なる意見が提示された際、冷静に分析し、自分の考え方を再考したり修正したりできる	まあまあできる
情報を調査・整理・評価・伝達・共有する手段として ICT を利用できる	できる
グループのメンバーの状況を理解し、支援する	まあまあできる
どのような状況においても意欲的に活動に取り組むことができる	あまりできない
さまざまな情報源から必要な情報を効率的に探すことができる	まあまあできる
プライバシーや文化の差異に配慮して、責任をもって注意深くインターネット環境を利用できる	できる
守秘業務、プライバシー、知的所有権に配慮	できる

しながら、身近な問題を解決するために、正確かつ創造的に ICT を利用できる	
他人に関心を寄せ、他人を尊重することができる	できる
グループが目指す成果に到達するために優先順位をつけ、計画を立て、運営できる	できる
正しい文法・語彙を使って話したり、書いたりできる	まあまあできる
社会で一般に容認・推進されている行動規範にしたがって行動できる	よくできる
他者を信頼し、共感することができる	できる
活動を粘り強く行うために必要な集中力がある	できる
情報を批判的かつ入念に検討し、評価できる	できる
あなたは前期のプロジェクト学習に意欲的に取り組みましたか？	まあまあ意欲的だった
前期の活動を行ったことにより、あなたはプロジェクト学習の内容に興味を持てるようになりましたか？	興味を持てた
前期のプロジェクト学習の活動は、あなたの今後に役立つと思いますか？	役に立つ

今後、同じようプロジェクトを行うことになったら、もっとうまくやれる自信がありますか？	まあまあ自信がある
前期のプロジェクト学習の活動に満足していますか？	まあまあ満足している
オンラインでの発表に関して、問題点の指摘や改善方法の提案などがあれば記してください。	発表に関しては圧倒的な時間の短さを感じた。もう少し時間がないと、ただでさえ返答に時間がかかるようになっているので、忙しいところの話ではなかった。

所属プロジェクト	ロボット型ユーザインタラクションの実用化 - 「未来大発の店員ロボット」をハードウェアから開発する -
担当教員名	三上貞芳, 高橋信行, 鈴木昭二
氏名	山本侑吾
学籍番号	1018063
クラス	B
配属時における学習目標は何でしたか。(複数回答可)	プロジェクトの進め方; 複数のメンバーで行う共同作業; 技術・知識の習得方法; 技術・知識の応用方法; 作業を効率よく行う方法
上の質問で「その他」を選んだ人は具体的に記述してください。	
上記の目標達成のために、どのようなことを行いましたか。(自由記述 200 文字以上)	ロボットの設計には 3DCAD が必要になるので前期の活動時間は大半をこの設計に充てていた。設計に必要なになってくる知識については、教授から役に立つ書籍の案内をしていただいたのでこれを読みながら設計を進めた。効率のいい設計については繰り返し作業を覚えていく中でうまく理解することができたと思う。今回は新型コロナウイルスの影響もあり会議や活動などは基本的には全て Zoom を用いたオンラインの形式だったが、会話を交えながらうまく作業を進めることができた。
前期の活動を終えて、学習目標は変化しましたか？ 現時点(7月末)における学習目標を選択してください。(複数回答可)	複数のメンバーで行う共同作業; 学生同士でのコミュニケーション; 教員とのコミュニケーション; 技術・知識の習得方法; 技術・知識の応用方法; 課題の解決方法
上の質問で「その他」を選んだ人は具体的に記述してください。	
(9 の質問で学習目標が変化した学生) 学習目標が変わった理由は何ですか？(200 文字以上)	基本的には大きく変化していない。ロボットの設計に必要な知識をこれからも習得していきたいと思っている。しかし、今期の活動を終えて思ったのは、ほとんどオンラインでしか作業をしていなかったため(特に自分のプロジェクトはグループごとに分かれて活動していた)、他のグループメンバーや教員とのコミュニ

	ケーションがあまり取れていなかったため、後期ではうまくコミュニケーションを取りながら、活動を進めていきたいと思っている。
後期、学習目標の達成のために、どのようなことを行う必要があると考えますか。(200文字以上)	前期で行ってきた作業を引き続き行っていく予定である。ロボットの設計についてコンセプトとして考えていた可愛さがあまり感じられなく、もう少しブラッシュアップする必要があると感じているため、より良い形で設計できるようにしようと考えている。前述した通り生徒と教員でのコミュニケーションをうまく取れるように、積極的に話し合いや、そのほかの活動に参加していきたい。また、前期の活動を経てプロジェクト活動の大まかな流れもある程度理解できたので、こちらについても協力的にしていきたい。
前期の活動を振り返って、活動全体の印象や感想を書いてください。(自由記述 200文字以上)	プロジェクト活動が始まる前はメンバーや活動内容についてかなりの不安があった。特にオンラインで実施することになったので、実際にプロジェクトメンバー同士で設計などの相談をすることがかなり難しかった。設計だけにとどまらず、基本的な話し合いや、相談事もかなりしにくいと感じた。それでも活動はしっかりと終わらせることができたのでとてもよかった。自分がこのプロジェクトに入って一番伸ばしたかった設計の技術も大きく成長したと感じる。
グループメンバーと協働することにより、課題を見出し、解決できる	できる
活動を成功させるために必要な努力をする自信がある	できる
証拠に基づいて意見を述べることができる	よくできる
自分で行った結果に対して責任を持つことができる	できる
収集した情報を体系的に整理し、活用することができる	まあまあできる
さまざまなコミュニケーションの場面において、他者の話を注意深く、	まあまあできる

忍耐強く、誠実に聞き、正しく理解できる	
活動の中で壁に直面したり、競争のプレッシャーがあっても、目標の達成に向けてやり抜くことができる	あまりできない
読み手や目的に合わせて、正確にわかりやすい文章を書くことができる	あまりできない
自分とは異なる意見が提示された際、冷静に分析し、自分の考え方を再考したり修正したりできる	まあまあできる
情報を調査・整理・評価・伝達・共有する手段として ICT を利用できる	できる
グループのメンバーの状況を理解し、支援する	まあまあできる
どのような状況においても意欲的に活動に取り組むことができる	あまりできない
さまざまな情報源から必要な情報を効率的に探することができる	まあまあできる
プライバシーや文化の差異に配慮して、責任をもって注意深くインターネット環境を利用できる	できる
守秘業務、プライバシー、知的所有権に配慮	できる

しながら、身近な問題を解決するために、正確かつ創造的に ICT を利用できる	
他人に関心を寄せ、他人を尊重することができる	できる
グループが目指す成果に到達するために優先順位をつけ、計画を立て、運営できる	できる
正しい文法・語彙を使って話したり、書いたりできる	まあまあできる
社会で一般に容認・推進されている行動規範にしたがって行動できる	よくできる
他者を信頼し、共感することができる	できる
活動を粘り強く行うために必要な集中力がある	できる
情報を批判的かつ入念に検討し、評価できる	できる
あなたは前期のプロジェクト学習に意欲的に取り組みましたか？	まあまあ意欲的だった
前期の活動を行ったことにより、あなたはプロジェクト学習の内容に興味を持てるようになりましたか？	興味を持てた
前期のプロジェクト学習の活動は、あなたの今後に役立つと思いますか？	役に立つ

今後、同じようプロジェクトを行うことになったら、もっとうまくやれる自信がありますか？	まあまあ自信がある
前期のプロジェクト学習の活動に満足していますか？	まあまあ満足している
オンラインでの発表に関して、問題点の指摘や改善方法の提案などがあれば記してください。	発表に関しては圧倒的な時間の短さを感じた。もう少し時間がないと、ただでさえ返答に時間がかかるようになっているので、忙しいところの話ではなかった。